

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●角田晃一調教師がJRA通算200勝を達成

1月25日(土)の1回小倉3日・第8レースではモサが1着となり、同馬を管理する角田晃一調教師(栗東)は、現役108人目となるJRA通算200勝(延べ2313頭目)を達成しました。

### ●スワーヴリチャードらの競走馬登録抹消

2018年大阪杯(G I)や2019年ジャパンカップ(G I)などの勝ち馬スワーヴリチャード(牡6歳/栗東・庄野靖志厩舎/JRA通算18戦6勝・海外1戦0勝)のほか、2019年阪神牝馬S(G II)などの勝ち馬ミッキーチャーム(牝5歳/栗東・中内田充正厩舎/JRA通算11戦5勝)、2020年日刊スポーツ賞中山金杯(G III)などの勝ち馬トリオンフ(騾6歳/栗東・須貝尚介厩舎/JRA通算18戦7勝)、2017年函館記念(G III)の勝ち馬ルミナスウォリアー(牡9歳/美浦・和田正一郎厩舎/JRA通算29戦6勝)、2014年毎日杯(G III)の勝ち馬マイネルフロスト(牡9歳/美浦・高木登厩舎/JRA通算40戦4勝・海外1戦0勝)は、1月29日(水)までに競走馬登録を抹消されました。スワーヴリチャードは北海道安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬、ミッキーチャームは北海道浦河町の三嶋牧場で繁殖馬、トリオンフは北海道洞爺湖町のレイクヴィラファームで乗馬となり、ルミナスウォリアーは地方競馬に移籍する予定。マイネルフロストは1月26日(日)に行われたアメリカジョッキークラブC(G II)の競走中に右第1指関節脱臼を発症し、予後不良となっています。

### ●サクラローレルが死亡

1月24日(金)、サクラローレル(牡29歳)が死亡しました。1996年に天皇賞(春)(G I)と有馬記念(G I)を制して同年のJRA賞年度代表馬に輝いた同馬は、JRA通算21戦9勝・海外1戦0勝の成績を残して引退。種牡馬としてサンケイスポーツ賞フローラS(G II)勝ち馬シンコールビー、アルゼンチン共和国杯(G II)などの勝ち馬サクラセンチュリー、ブリーダーズゴールドC(Jpn II)勝ち馬ギルガメッシュらを出し、種牡馬引退後は、公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル引退名馬繋養展示事業の助成対象馬として北海道新ひだか町の新和牧場で余生を送っていました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●チュウワウイザードが人気に応じて川崎記念(川崎)を圧勝

川崎記念(Jpn I、1月29日、川崎、2100m)は、3番手前後から3、4コーナー中間で先頭に立ったチュウワウイザード(川田将雅騎手、牡5歳、父キングカメハメハ)がヒカリオーソ(川崎)を6馬身引き離し、単勝1.6倍の支持に応じてJBCクラシックに次ぐJpn I制覇。3番人気のデルマルーヴルが3着に入り、アナザートゥルースは5着、逃げた2番人気のケイティブレイブは6着、昨年の覇者ミツバは7着、メイブルブラザーは8着に敗れています。

### ●佐々木竹見CジョッキーズGPは岩手の山本聡哉騎手が優勝

1月28日に全国からリーディングジョッキーを集め、川崎競馬場で2レースのポイント制で争われた佐々木竹見Cジョッキーズグランプリは、2、4着という成績で山本聡哉騎手(岩手)が総合優勝。クリストフルメール騎手(栗東)は4、9着で第7位、田辺裕信騎手(美浦)は14、10着で最下位の第14位でした。

### ●姫路競馬場で7年半ぶりに競馬開催

兵庫県の姫路競馬場では、内馬場に船場川洪水調節池を建設する県の工事のため、2012年8月を最後に競馬開催は行われず、JRAの「ウインズ姫路」や地方競馬の場外発売を実施してきましたが、昨年春に工事は終了し、スタンドの耐震補強やリニューアルも完了したことから、1月15日に7年半ぶりに姫路競馬が開催されました。

### ●フランスのミカエル・ミシェル騎手が短期免許で川崎で騎乗

ミカエル・ミシェル騎手(フランス)は、3月31日までの短期騎手免許の交付を受け、山崎裕也厩舎(川崎)に所属して1月27日の川崎競馬から騎乗を開始。2日後の29日には地方初勝利を取っています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●2019年の米年度代表馬はブリックスアンドモルタル

エクリプス賞の受賞人馬が1月23日にフロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で発表され、2019年の米年度代表馬にブリックスアンドモルタル(牡5歳=年齢は2019年時点、父ジャイアントコーズウェイ)が選ばれました。ブリックスアンドモルタルは2019年6戦6勝。ブリーダーズCターフ、ペガサスワールドCターフなど5つのG1勝ちをあげました。なお、ブリックスアンドモルタルは今年から社台スタリオンステーションで種牡馬となっています。また、最優秀見習騎手にはカナダのウッドバイン競馬場を拠点に活躍する木村和土騎手(20歳)が選出。日本人として初めてエクリプス賞を受賞する快挙を成し遂げています。

### ●G1ペガサスワールドC〜ムーチョグストがG1初制覇

1月25日に米国フロリダ州のガルフストリームパーク競馬場で行われたG1ペガサスワールドC(4歳上、ダート1800m、今年の総賞金は前年から600万ドル減の300万ドル)はI. オルティスJr. 騎手を背に先行したムーチョグスト(牡4歳、父ムーチョマッコマン、B. パファート厩舎)が直線で楽に抜け出して4馬身半差の快勝。デビューから11戦目でG1初制覇を果たしました。重賞は5勝目です。